

■ JWP A News

RE2017 出展報告

日本風力発電協会 総務部長 千葉 登

2017年7月5日から7月7日までの3日間にわたりパシフィコ横浜で開催された「第12回再生可能エネルギー世界展示会」(RE2017)に、JWPA が会員の(株)興電社と共同ブースを出展しました。今年の来場者数は併設の PV Japan も含め3日間で昨年より若干増加の2万7千人と多くの来場者でにぎわいました。

協会としては風力発電ポテンシャルマップと風力発電所マップ、フォトコンテストの優秀作品を展示しました。協会のパンフレット、ポテンシャルマップと発電所マップの縮刷版、チラシ「低周波音を正しく理解するために」、「風力発電の現状と課題」というパンフレットと、昨年2月に発表した JWPA ウィンドビジョンの発表資料(英文版)も配布しました。

ブース来場者のご質問に答えるべく協会事務局職員が交代で対応いたしました。

一方、同時に開催された JCRE フォーラム「風力エネルギー分野」では JWPA より中村専務理事が「風力発電の現状と JWPA の取り組み～JWPA WIND VISION の進捗～」、上田悦紀国際・広報部長が「国内外の風力発電導入状況の紹介」、本庄暢之系統部会長が「系統連系制約緩和策の検討」、斉藤長理事 企画部長が「風力発電所のリプレース・リパワリングの推進」のテーマで講演しました。



JCRE フォーラムの様子

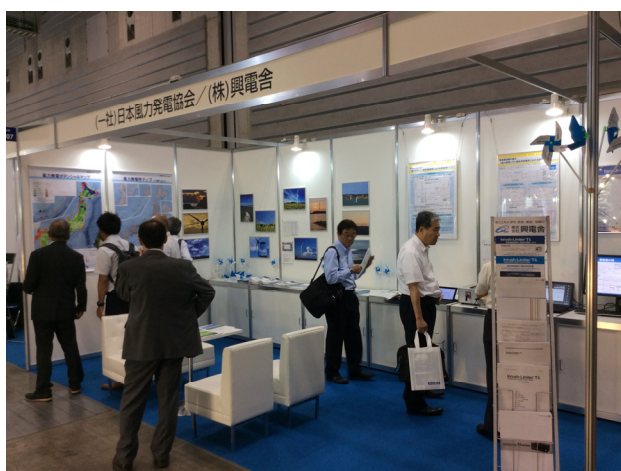


JCRE フォーラム出席者

主催者の再生可能エネルギー協議会にご協力いただき今年も本フォーラムをグローバルウィンドディ行事とさせていただきました。

来年の「第13回再生可能エネルギー世界展示会」は2018年6月20日～22日、パシフィコ横浜で開催される予定です。

また4年に一度のグランド再生可能エネルギー2018国際会議が6月17日～22日、パシフィコ横浜で開催される予定です。



RE2017 ブースの様子